

議案第13号 平成31年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案  
の提出について

上記の修正案を別紙のとおり、地方自治法第115条の3及び久喜市議会会議規則第17条の規定により提出します。

平成31年3月18日提出

発議者 久喜市議会議員

杉野 修

渡辺 昌代

石田 利春

平間 益美

久喜市議会議長 上條 哲弘 様

(別紙)

平成31年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案

議案第13号 平成31年度久喜市水道事業会計予算を次のとおり修正する。

第3条で定める収益的収入及び支出の予定額を次のとおり修正する。

収入

	原案の金額	修正案の金額
第1款 水道事業収益	4,227,393 千円	4,142,393 千円
第1項 営業収益	3,780,022 千円	3,695,022 千円

## 提案理由

政府は景気拡大が続いているとしていますが、景気回復を「実感していない」と感じている人は84.5%との調査が示されています。政府発表とはかけ離れ、多くの世帯ではその実感はありません。久喜市の水道事業の給水停止世帯は、2018年3月現在、給水停止対象件数1908件。給水停止に至った世帯数は1126世帯、停止継続件数は666世帯です。厳しさが続いていることが見てとれます。

逆進性がある消費税増税が、今年の10月に予定され、予定どおり実施されれば、貧困と格差が更に拡大し、社会的弱者である母子世帯・高齢者・障がい者などの暮らしに大きな影響が出ることは必至です。くらしを支援することが求められています。

市は水道ビジョンを策定し事業を進めてきました。料金改定以降の水道事業の特徴は、計画以上純利益があり、キャッシュフローも余裕が生まれたことから、建設改良費である浄水施設費や配水管布設費など、中期計画を前倒しし、事業を進めてきたことが特徴です。

前倒しを進めて来た建設改良費事業金額は約10億円を越えていました。

企業債の返済は中期計画時点で46億円以上あったものが2021年度末では19億円まで減少、料金改定前に抱えていた借入残金を、料金改定後の収益で返済に充てていると言えます。

久喜市の水道料金は、供給単価192.2円、埼玉県の平均額は162.8円で埼玉県内でも高い位置にあります。

修正案は、市民が使用する13mm口径、20mm口径、25mm口径利用の基本料金の見直しです。基本料金を10%引き下げる提案で、合計金額は約8,500万円となります。

高齢化が進んでいること、一人世帯が多いことを考えると、基本料金を下げることで、水道水を多く使わない世帯に値下げ効果が大きいと言えます。

ささやかな支援とも言えますが、市民の暮らしを支援すること、公共の福祉増進に向けた水道事業運営の一環として、水道使用の基本料金を引き下げる修正案を提出するものです。

水道料金、10%引き下げた場合の基本料金算定

口径(mm)	基本料金(円)	年間12カ月	世帯数	基本料年間 合計額(円)	10%の金額
13	910	12	38,096	416,008,320	41,600,832
20	1,280	12	26,240	403,046,400	40,304,640
25	4,900	12	515	30,282,000	3,028,200
合計			64,851	849,336,720	84,933,672